

学び／公教育のゆるやかな構造転換に向けて  
～そもそも学校は何のためにあるか？～

苫野一徳（熊本大学）



哲学とは・・・

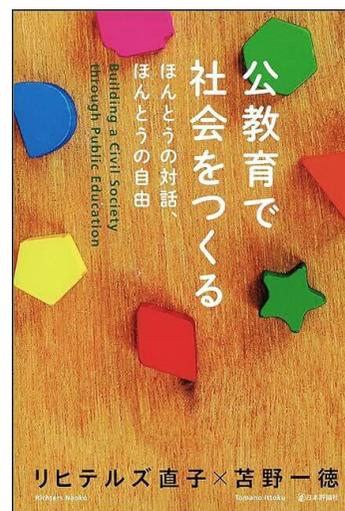
そもそも（本質）を考え抜くことで、それにまつわる問題を解く！





## 「よい」教育とは何か？ それはいかに可能か？

- ・熊本市教育委員
- ・経済産業省産業構造審議会委員
- ・名古屋市、芦屋市、尼崎市、本巣市、大熊町、ほか教育アドバイザー



# 本質観取



- 第1話 「幸せ」ってなんだ?
- 第2話 人間の「愚かさ」について
- 第3話 究極のテーマ「人間」とは何か?
- 第4話 「よい政治」とは?
- 第5話 「存在とは何か?」にせまる
- 第6話 神さまの神さまはだれ?
- 第7話 「信頼」って、なんだろう?
- 第8話 道徳の授業で考える「思いやり」
- 第9話 希望は、光
- 第10話 ファッションと校則
- 第11話 「愛」について
- 第12話 我思う、ゆえに我あり
- 第13話 「よい行い」って、なんだろう?
- 第14話 「悲しい」と「くやしい」は何かちがう?
- 第15話 法律って、なんだろう?
- 第16話 「かわいい」って、なんだろう?
- 第17話 「恥ずかしい」とは何か
- 第18話 「恥ずかしい」とは何か2
- 第19話 「大人」とは何か?
- 第20話 本質を考えること

# 「本質観取」のやり方

例：「学び」ってなんだろう？

## START



1 本質がわかると、  
どんないいことがある？

まずは、なぜこのテーマで本質観取を  
したいのかを話し合います。

▶Ex. おもしろいと思えない学校の  
「勉強」、どうすれば意味ある「学び」  
にできるかな。

2 さまざまな事例をあげる

経験から、「あれは学びだったなあ」  
「これこそ学びだ」と思った具体的な  
例を出し合います。

▶Ex. 夢中に調べ物をしていた時、知  
らなかったことを知れた時、失敗から  
学んだ時……etc.



3 本質的なキーワードを  
見つける

すべての事例に共通するキーワ  
ードをいくつか見つけていきます。

▶Ex. 自分自身の問い、能動性、役  
に立つ……etc.



## GORL



「あれっ」と思ったらすぐろくを戻る。

行きづまったら、ちょっと戻ってみるといいかもしれません。

たとえば、④で出てきた本質が、②であげたすべての事例に  
ちゃんと共通しているかどうか、何度もたしかめ直します。

4 本質を言葉にする

最も核心をついた言葉で、その  
本質を言葉にしてみます。

▶Ex. 「学びとは、自分自身の問  
いと気づきを通して、生が豊か  
になっていく営みである！」



5 ①に答える

見つけ出した答えが、最初の問題意識に答え  
るものになっているかたしかめてみます。

▶Ex. 学校の勉強を、もっと自分の「問い」  
から始まるものにできれば、きっと意義を感じ  
られるはず！



# 2024度から小学校「道徳」、 2025度から中学校「道徳」の 教科書に（光村図書）。

## 【参考】

「道徳授業で哲学鍋を」（道徳科通信）  
<https://www.mitsumura-tosho.co.jp/webmaga/jugyou/tetsugaku-nabe>

みなさんは、「自由」とは、どんなものだと思いますか。  
自分の思うままにふるまうこと？  
何者にもじやまされたいこと？  
今日は、「自由」とは何かについて、いろいろな考えを  
出し合い、今、自分たちが考える「自由」とは  
どんなものなのかを、まとめていきましょう。  
そして、「自由」について考えることは、  
みなさんにとって、どんないいことがあるのかも、考えてみましょう。



考えよう・話し合おう



「自由」について、考えを深めよう。

## 29 「自由」って、何だろう

「自由」について、これまでに、  
どんなことを考えてきたかな。



1  
自由を大切にし、  
責任をもつ

# 本質観取の意義

- 言語力・思考力・対話力が高まる。
  - 対話を通じた合意形成ができるようになる（民主主義の基本）。
- 表層ではなく「**本質**」を考えられるようになる

# 今日のお話の内容

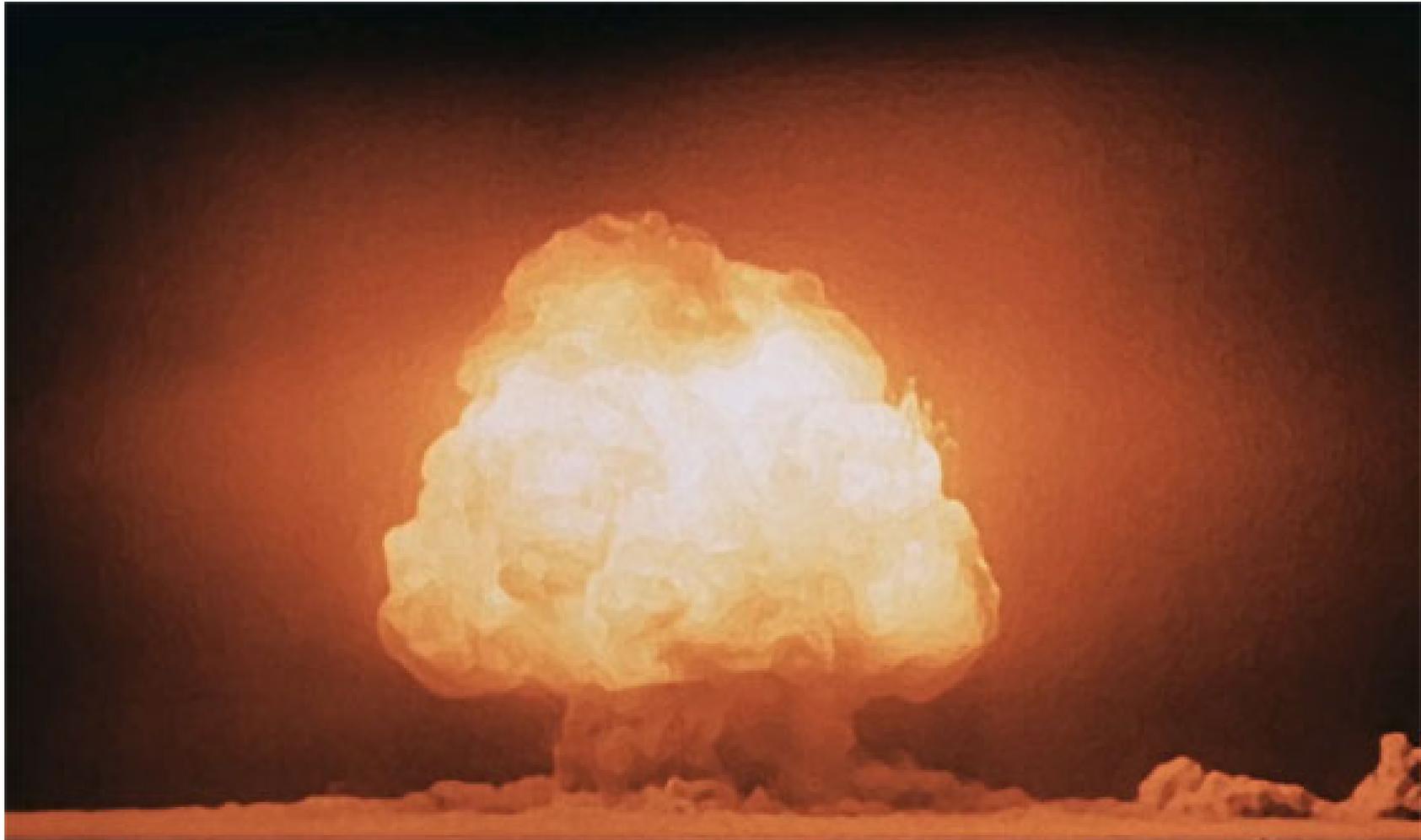
1. そもそも学校は何のためにある？
2. 学び／公教育のゆるやかな構造転換に向けて
3. 自治体規模で動き始めた「学び／公教育の構造転換」

# 今日のお話の内容

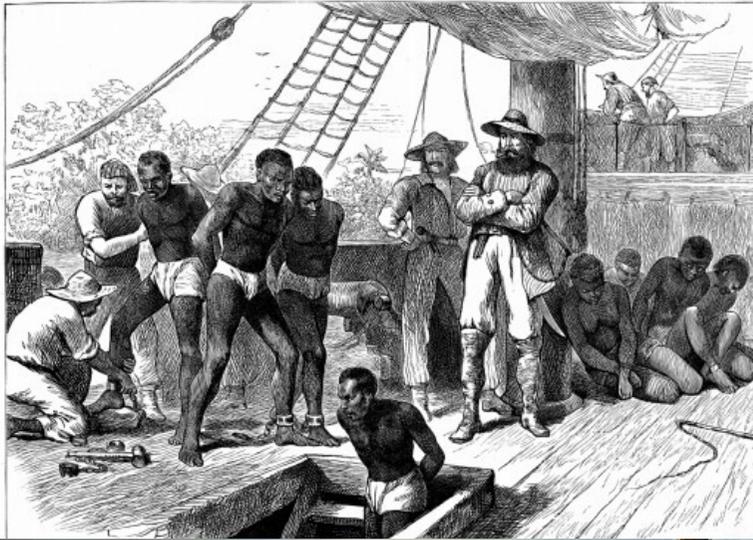
- 1. そもそも学校は何のためにある？**
2. 学び／公教育のゆるやかな構造転換に向けて
3. 自治体規模で動き始めた「学び／公教育の構造転換」

**公教育は、人類1万年の戦争のはてに見出された革命的発明である！**

# 戦争の激減 (cf. スティーブン・ピンカー 『暴力の人類史』)









G.W.F.ヘーゲル  
(1770~1831)

民主主義の根本原理は・・・

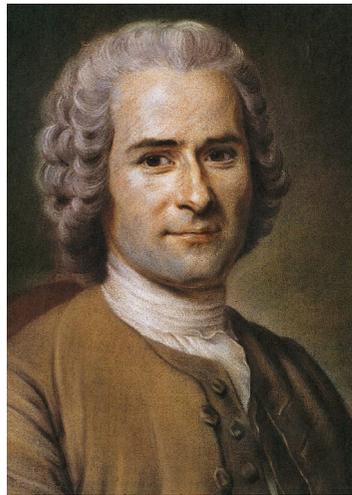
## 「自由の相互承認」

→お互いを対等に「自由」な存在として認め合う。  
このことをルールとした社会

# 民主主義とは何か？



G.W.F.ヘーゲル  
(1770~1831)



ジャン=ジャック・ルソー  
(1712~1778)

- 「自由の相互承認」の原理  
(ヘーゲル)
- 「一般意志」 (ルソー)
  - 「みんなの意志を持ち寄って見出しあった、みんなの利益になる合意」のみを正当な根拠としてこの社会を作り合う
  - 多数決は民主主義の本質ではない

# 民主主義を実現するための制度的土台

- 憲法

→すべての人の「自由」をルールとして保障する

- 公教育

→「自由」に生きるためには力がある／「自由の相互承認」の感度が必要

- 福祉

→障害、貧困、その他の理由で妨げられてしまう「自由」を必ず保障する

そもそも学校は何のためにあるのか？

**すべての子どもに「自由の相互承認」  
の感度を育むことを土台に、「自由」  
に生きるための力を育むため！**

ところが・・・

- 不登校
- いじめ
- 体罰
- 小1プロブレム（と間違っって呼ばれている現象）
- 落ちこぼれ・吹きこぼれ
- 同調圧力
- 空気を読み合う人間関係
- 理不尽な校則

・・・etc.

# 150年間変わらない学校システム

みんなで同じことを、  
同じペースで、  
同じようなやり方で、  
同質性の高い  
学年学級制の中で、  
出来合いの答えを  
勉強する、  
ベルトコンベヤー型の  
システム



- 落ちこぼれ・吹きこぼれ問題
- いじめ、不登校、空気を読みあう人間関係の問題
- 学びの意義がわからない・学びからの逃走



100年前の尋常小学校の復元  
(トリップアドバイザーより)

# 今日のお話の内容

1. そもそも学校は何のためにある？
- 2. 学び／公教育のゆるやかな構造転換に向けて**
3. 自治体規模で動き始めた「学び／公教育の構造転換」

# 「学びの構造転換」そして 「公教育の構造転換」へ！



- \* 学びの個別化・協同化・プロジェクト化の融合
- \* 自分たちの学校は自分たちでつくる（市民社会の土台）
- \* 多様性がもっとごちゃまぜのラーニングセンターへ

# 「学びの構造転換」そして 「公教育の構造転換」へ！



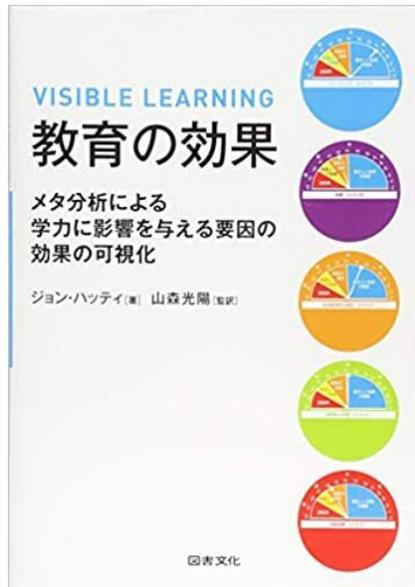
- \* **学びの個別化・協同化・プロジェクト化の融合**
- \* 自分たちの学校は自分たちでつくる（市民社会の土台）
- \* 多様性がもっとごちゃまぜのラーニングセンターへ

# 「学びの構造転換」とは何か？

みんなと同じことを、同じペースで、同じようなやり方で、  
同質性の高い学年学級制の中で、  
出来合いの問いと答えを勉強する。



自分のペースで、自分に合った学び方や場所で（個別化）、  
時に学年を超えた「ゆるやかな協同性」の中で（協同化）、  
自分たちなりの問いと答えを探究する学びを中心に学んでいく  
（プロジェクト化）。



- カリキュラムや授業が一律一斉的である場合、子どもたちはせいぜい半分程度の時間しか学んでいない。
- 個々のペースやレベルに応じた学びが進められ、教師や仲間の的確なフィードバックがあれば、（より短い時間での）学力保障・向上に効果が大。

# 学びの個別化

- 人それぞれ、学びのペース、興味・関心、合った学び方、合った教材、心地のいい学習空間などは異なっている。

→ これらをできるだけ個別化する（自己選択・自己決定の機会を広げる）。

# 学びの協同化

- 「個別化」が「孤立化」になってはならない。
  - 「ゆるやかな協同性」に支えられた「個の学び」を実現。
  - 必要に応じて、人に力を借りられる、人に力を貸せる環境づくり。

# 名古屋市立山吹小学校での実践



[https://youtu.be/aP\\_u62MA13Y?feature=shared](https://youtu.be/aP_u62MA13Y?feature=shared)

# 学びのプロジェクト化

- 自分たちなりの問いを立て、自分たちなりの仕方で、自分たちなりの答えにたどり着く「探究型の学び」をカリキュラムの中核に

# 伊那市立伊那小学校での実践



<https://youtu.be/k7XCjlob-rl?feature=shared>

伊那小学校で大事にされている子どもも観

**子どもは自ら求め、自ら決め出し、  
自ら動き出す力をもっている存在である。**

→「日々の授業は、本当にそのような子どもの姿が見られるものになっているか？」と、つねに先生同士で対話する。

# 効果の実証

- 学力はもちろん、自己効力感・集合的効力感・自己受容感・他者受容感等が飛躍的に向上。

文科省MEXCBTにて無料でご利用可能（まなポケご利用の場合は結果の可視化も自動で）

「主体的・対話的で深い学び」  
の実現状況を測る  
アセスメント



<https://sctn.jp>

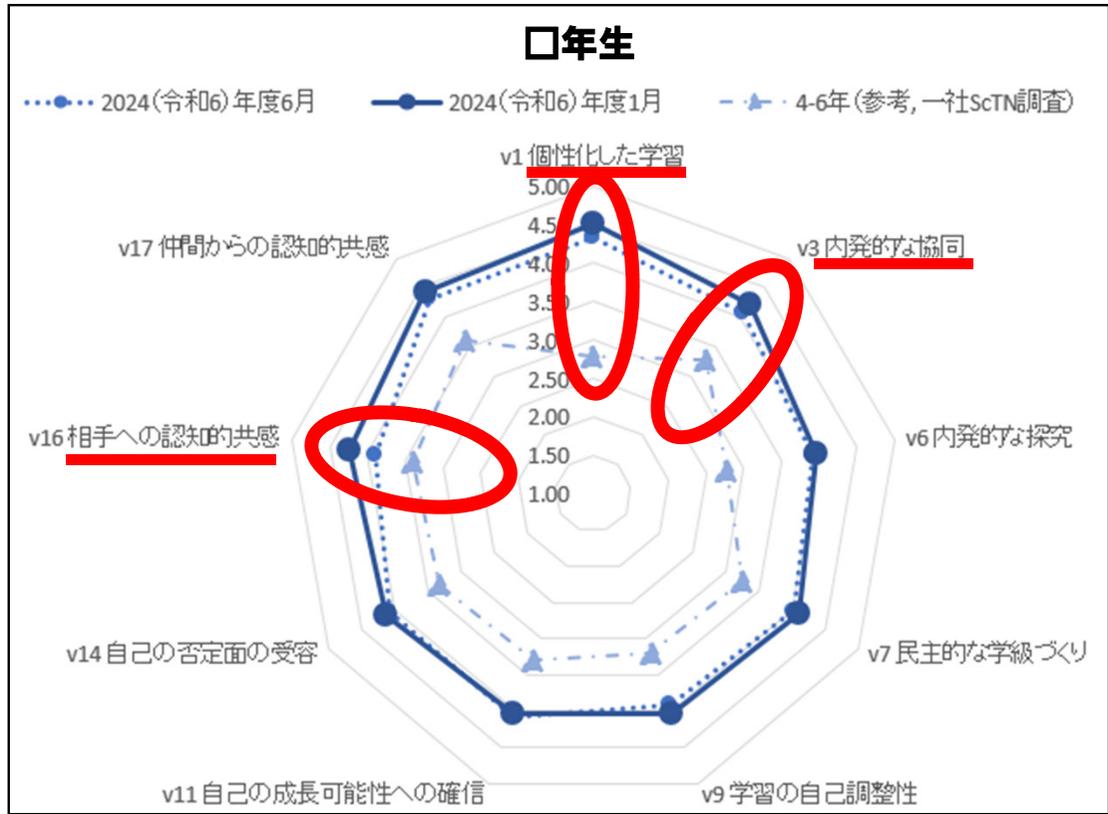
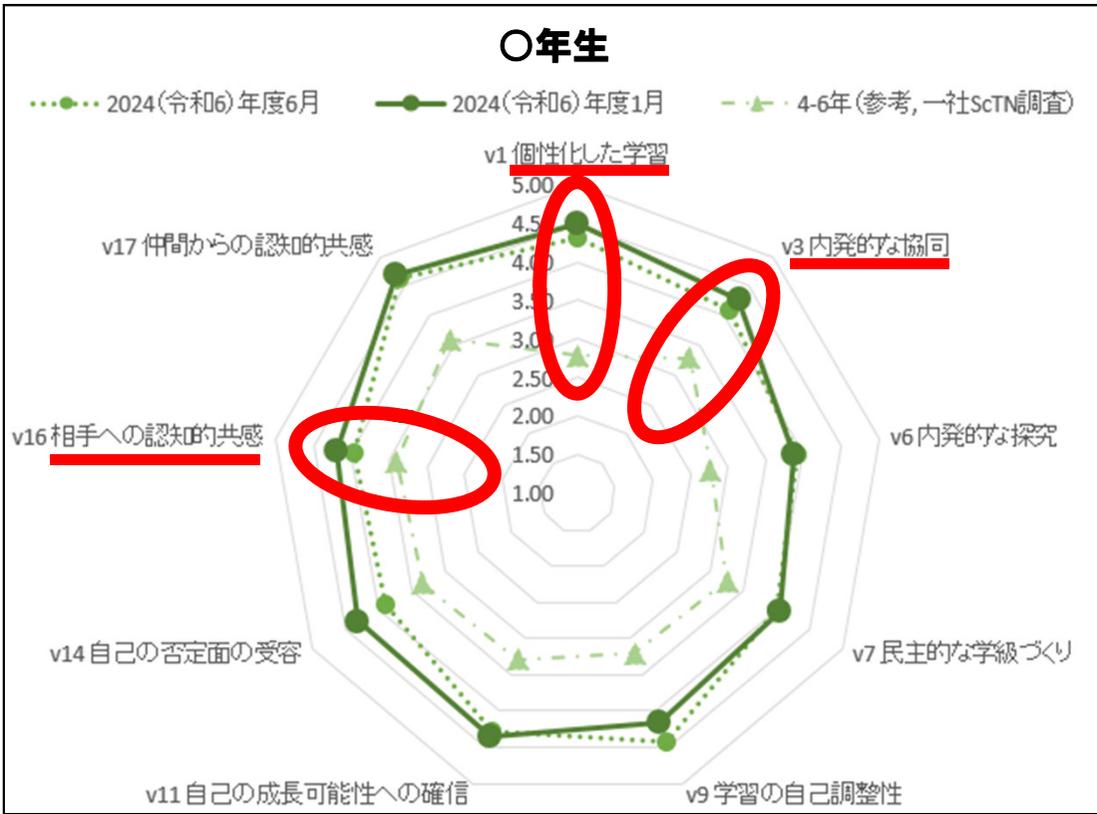
本物の学び	状況に埋め込まれた学習	授業では、普段の生活のことや、社会で問題・話題になっていることを材料に学んでいる。
	自己決定に貫かれた学習	授業では、「授業を進めるのは、先生ではなくて、自分だ」と思いながら学んでいる。
探究の学び	内発的な探究	授業では、自分の興味や関心に基づき、自分なりに問いや課題を立てて学んでいる。
	挑戦的集中	授業では、挑戦と失敗を繰り返しながら、問いや課題の解決に取り組んでいる。
個別の学び	個性化した学習	授業では、学習の方法やペースを自分で選んだり決めたりしながら学んでいる。
	個別化した指導	授業中、分からないことがあれば先生が自分に合わせて答えをくれる。
協同の学び	内発的な協同	授業では、自分が必要な時に、必要な仲間と協力しながら学んでいる。
	協同の活用	授業では、他の人の考えや意見を自分の学びに生かしている。
民主的な学校生活	民主的な学級づくり	学級のみんなに関わることは、自分たちで、全員の考えや気持ちを確かめてから決めている。
	民主的な学校づくり	学校生活で誰かが疑問に思ったことは、全校で話し合ったり、みんなで合意して変えたりしている。

**授業では、「授業を進めるのは先生ではなくて、自分だ」と思いながら学んでいる。**

**授業では、学習の方法やペースを自分で選んだり決めたりしながら学んでいる。**

**ScTN質問紙**

# 名古屋市立A小学校: ScTN質問紙の結果(2024年6月、2025年1月)



# 「学びの構造転換」そして 「公教育の構造転換」へ！

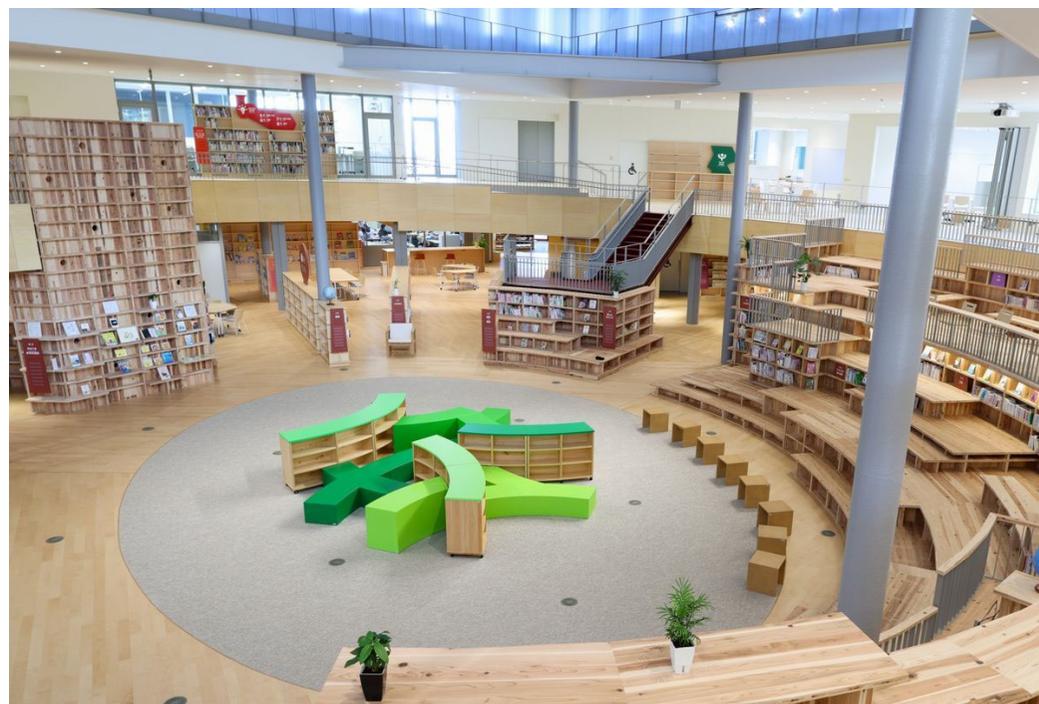


- \* 学びの個別化・協同化・プロジェクト化の融合
- \* 自分たちの学校は自分たちでつくる（市民社会の土台）
- \* 多様性がもっとごちゃまぜのラーニングセンターへ

これから学校は、多様性が「ごちゃまぜの  
ラーニングセンター」になる！



福島県大熊町立「学び舎ゆめの森」  
0歳から100歳以上までが学び合う公立学校  
(幼・保・小・中・大学・市民、etc.)



図書ひろば

# 今日のお話の内容

1. そもそも学校は何のためにある？
2. 学び／公教育のゆるやかな構造転換に向けて
3. **自治体規模で動き始めた「学び／公教育の構造転換」**

# 「学びの構造転換」に取り組む自治体

- 広島県
- 名古屋市
- 石川県加賀市
- 兵庫県芦屋市
- 奈良県生駒市
- 岐阜市
- 岐阜県本巣市
- 福島県大熊町
- 富山市

…etc.

日本の教育史上おそらく初の動き。

自治体どうしが、つながり、支え合い、刺激し合っている。

# 4 度目の正直を実現するために

- **つねに教育の「本質」から考える**

- 流行に流されて右往左往しない

- **学校内に「対話の文化・仕組み」を作る**

- 一方的なトップダウンだけで進めない（コデザイン）

- つねに「本質」を問いながら「ではどうすればいいか」を対話する

# ナゴヤ 学びのコンパス

全ての子どもが自分らしく、幸せに生きていくために、  
「子ども中心の学び」を幼児期から青年期まで  
一貫して大切にします。

## 名古屋市の 学校教育を通じて 目指したい姿



### どの学校園でも大人が大切にしたいこと

全ての子どもは、適切な環境とそれを支える仲間・大人に出会うことで、自ら学びを進め、深めていく存在であるという意味で、「有能な学び手」であると言えます。  
私たち大人は、子どもを「有能な学び手」であると信じ、尊重・対話・チャレンジを大切にしながら、子どもの学びに伴走していきます。

### 実現したい市民の姿

自由な市民として  
互いを認め合い、  
共に社会を創造する

### 実現したい市民の姿

人は誰もが「自由」に、つまり、自分らしく生きていきたいと願っています。ここで掲げる「自由な市民」とは、**自分も他者も全ての人の自由を尊重する市民**のことを指しています。  
私たちは、未来を生きる子どもたちが、こうした「自由な市民」として社会の創り手に成長していくことが、本市の学校園の教育を通じて目指すべき姿であると考えています。

### 目指したい子どもの姿

ゆるやかな協働性の中  
で自律して  
学び続ける

### 目指したい子どもの姿

子どもたちが必要に応じて、仲間や大人の力を借りたり、自分の力を貸したりする「ゆるやかな協働性」のもとで一人一人が自律して学び続けている姿が、目指したい子どもの姿です。

### 重視したい学びの姿

自分に合った  
ペースや  
方法で学ぶ

多様な人と  
学び合う

夢中で  
探究する

### 重視したい学びの姿

「主体的・対話的で深い学び」を目指した授業改善の考え方に基づく名古屋市の実践を踏まえて、大切にしたい三つの要素を取り上げました。  
これまでも、これからも大切にしたい姿です。

## どの学校園でも 大人が大切にしたいこと 子どもは有能な学び手であると理解し、 子どもの学びに伴走する

子ども  
一人一人の  
思いや願いを  
尊重する

子どもと  
対話する

子どもの  
自分なりの  
チャレンジを  
大事にする



# 校内研修を対話ベースに（福岡県古賀市立小野小学校）



- 研修部が実践のあり方を決めてみんなに下ろしていく研修から、対話を通して合意した目標に向けて、それぞれがチャレンジし、それを持ち寄り、さらに対話を重ねていく研修に
- これまでの協議会をやめて、グループ対話を研修形態の基本に

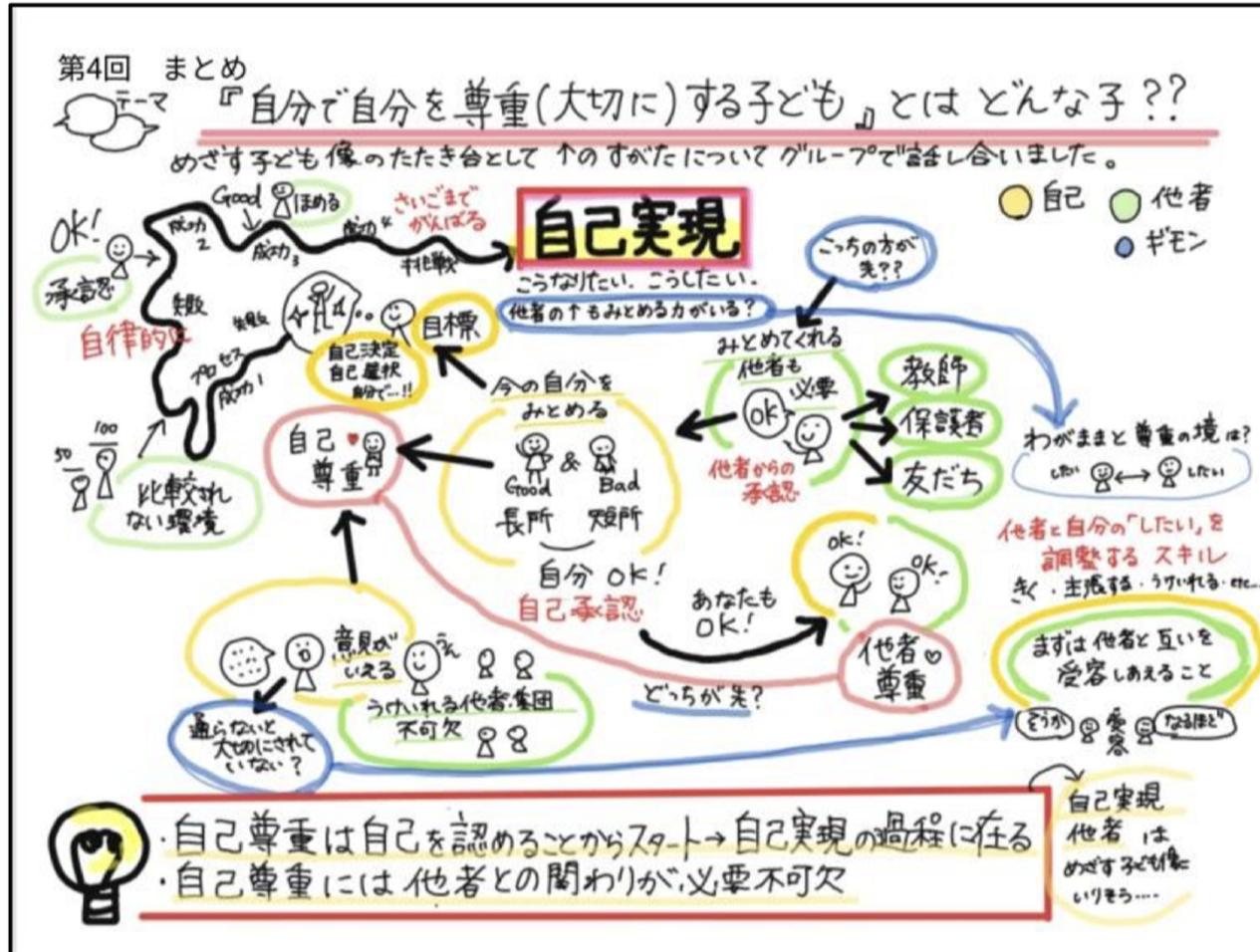
# まずはお互いを知る



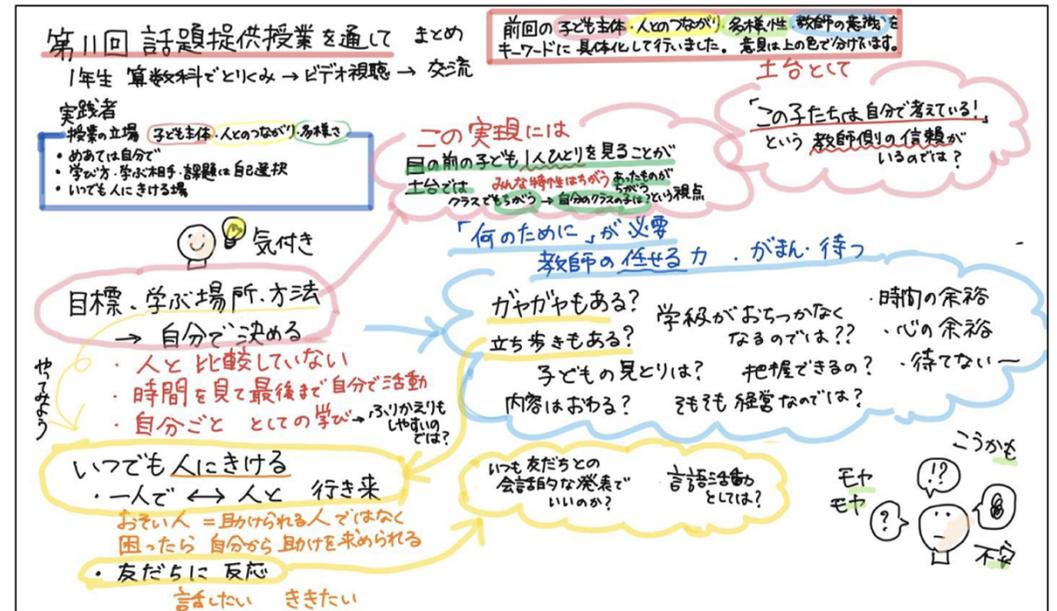
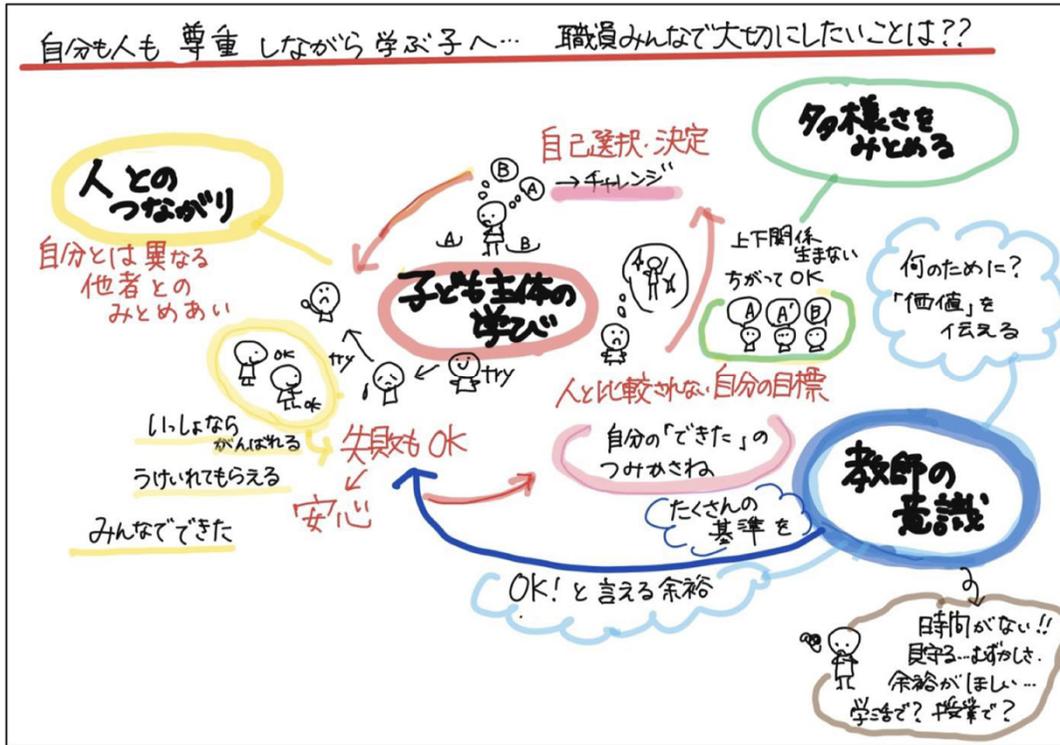
- 教師を目指した理由は？
- 青臭い話を通して、お互いの根っこを知り合う



# 本質観取：「尊重する」とは？



# じゃあどんな実践ができるだろう？



- 個々の課題に合わせた実践
- それらを持ち寄り、対話
- つねに最上位の目標（大事にしたいこと）に立ち戻りながら

「学び／公教育の構造転換」実現の鍵は・・・

**「本質」を問い合う／「本質」につねに立ち戻る  
「対話の文化・仕組み」を作る！**

## 具体的な事例（広島県、名古屋市、伊那小）

- 広島県教育委員会HP内の、小中学校における自由進度学習や探究学習等の動画

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/kyouiku17/kobetu-teian.html>

- 名古屋市立山吹小学校の動画

[https://youtu.be/aP\\_u62MA13Y?feature=shared](https://youtu.be/aP_u62MA13Y?feature=shared)

- 名古屋スクールイノベーションプロジェクト

<https://nagoyaschoolinnovation.city.nagoya.jp>

- チャイムなし！時間割なし！伊那小学校（全3回）

<https://youtu.be/k7XCjlob-rl>

## 具体的な事例（熊本市、鹿児島市）

- 講談社コクリコ：「学びの個別化・協同化・プロジェクト化」を実践する熊本市立弓削小学校教諭の実践（全4回）

<https://cocreco.kodansha.co.jp/cocreco/general/study/fAWu7>

- 東洋経済オンライン：算数嫌い克服、平均点も上げた脱一斉授業の全貌～誰一人取り残さない「学びの個別化・協同化」

<https://toyokeizai.net/articles/-/466281>

- ScTN質問紙をきっかけに「自由進度学習」に取り組んだ学校の事例

<https://manabipocket.ed-cl.com/case/kagoshima-kinkoudai/>

- ScTN質問紙を自治体で取り入れている鹿児島市の事例

<https://manabipocket.ed-cl.com/case/kagoshima-kyoiku-sctn/>